

(2)姉小路界隈を考える会の活動 (平成7年～)

◆看板の似合うまちづくり

界隈に点在する老舗の著名な書家による「看板」に着目し、「看板の似合うまちづくり」を最初のキーワードとして取り組みました。



◆会報の発行

会の活動内容を会報として発行しています。中でも界隈に住む老舗のご主人や職人に話を伺い、紹介する「姉小路にんげんマップ」は、大変好評を博し、活動の柱の一つになっています。



◆灯りでむすぶ姉小路界隈

地蔵盆の夜に、看板や町家をライトアップし、行灯を通りに並べて、まち全体の灯りを考えるイベントを平成9年度より実施しています。京都のまちなかで、市民による灯りのイベントの最初の取組です。



◆花と緑でもてなす姉小路界隈

界隈に似合う鉢植えを作り、通りに並べてもてなしの心を表現するイベントを平成10年度から実施しています。



◆姉菊屋町地蔵盆



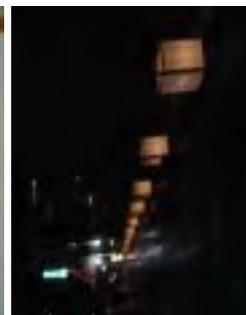
平成15年度夏



平成16年度夏

◆NPO法人「都心界隈まちづくりネット」の設立

住民と地元企業と行政の協働を図るために、姉小路界隈を考える会を中心に平成15年1月にNPO法人「都心界隈まちづくりネット」を設立しました。この法人では21世紀型都市再生ビジョンをリードする「美しい都市・京都づくり」を目指して、企業と住民のネットワーク型のまちづくりを展開します。



■「界隈を楽しみ、界隈の人が楽しむ」活動の継続

会の活動では様々な人からの提案を基本に、界隈ならではの価値を付加し、界隈の人が楽しむイベントや活動に仕上げるプロセスを大切にしています。界隈の人が楽しむことでさらにバージョンアップした企画に生まれ変わり、継続していることが特徴です。